

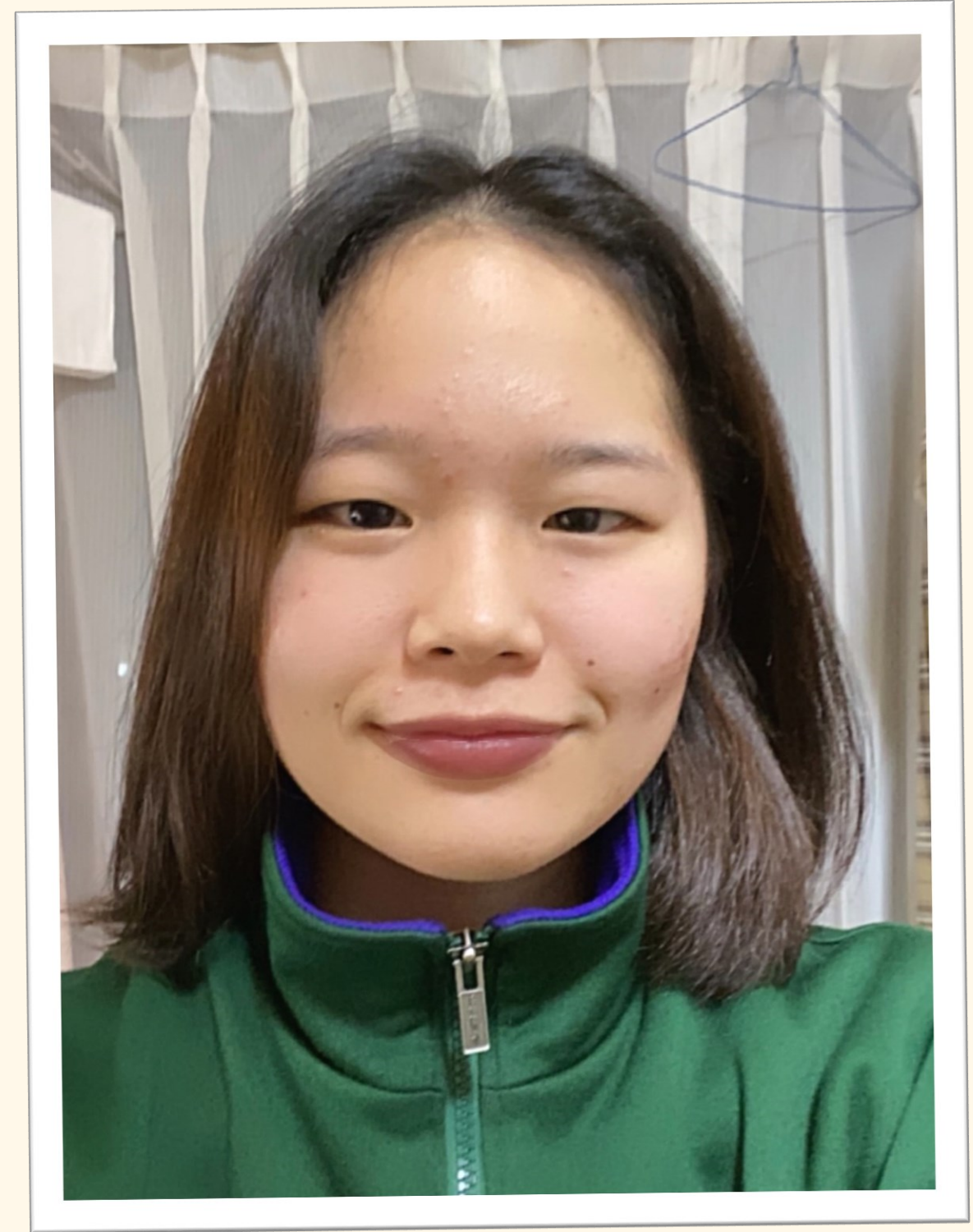
2021

北東アジア交流の翼inしまね

島根県参加者報告

泰中優衣

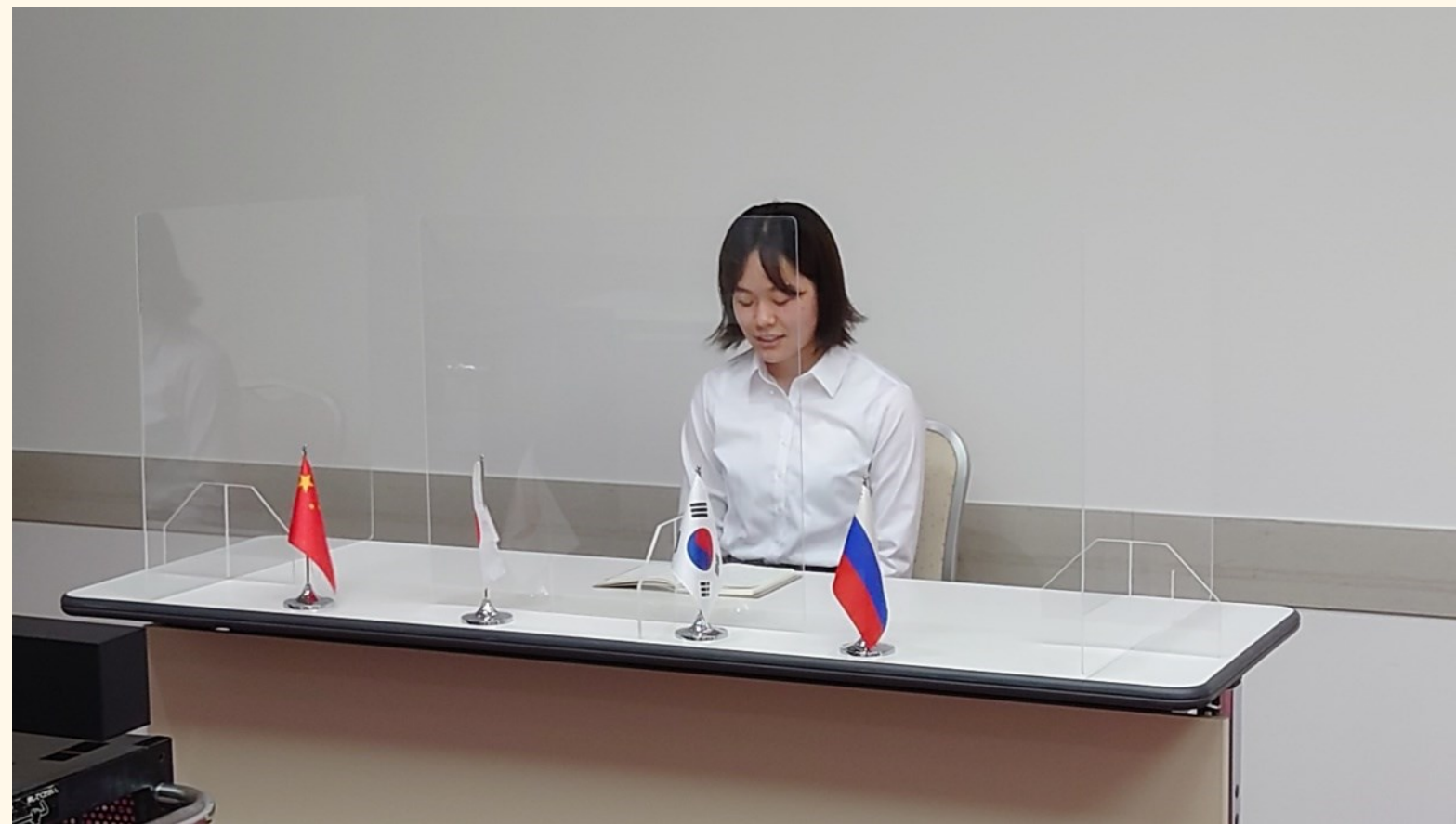
島根県立大学短期大学部  
保育学科



# 参加のきっかけ

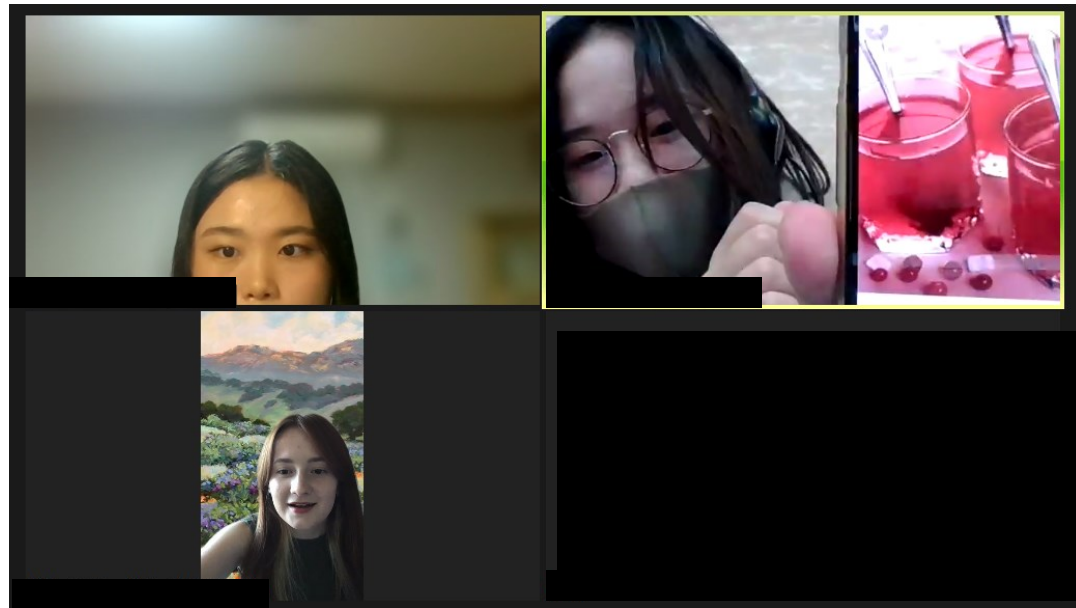
できるかも!?

たのしそう!



私は、韓国ドラマを中心に外国のドラマを見るのが好きで、外国の文化や生活、言語に興味を持っていました。だから、大学生になったのをきっかけに何か外国の方と関わることのできるものに参加してみたいと思っていました。

そんな時に、学内メールで北東アジア交流の参加者募集のメールを見て「楽しそう！これなら私にもできるかも！」と感じて参加することにしました。



# このプログラムで楽しかったこと



## 外国の方とお話ができただこと！

私は、このような外国の方と交流するプログラムに参加したのが初めての経験でした。だから、お話できるということだけでも嬉しく、各国の文化についてや違いなど色々なお話ができただことがとても楽しかったです。

## 日本文化体験！

リモートでしたが、一緒に各国の方と日本の伝統文化である折り紙と組子細工でのコースター作りができただことが楽しかったです。日本人の私も知らなかつた折り紙と組子細工の歴史を知ることができただのも良かったです。



# このプログラムで 感じたこと

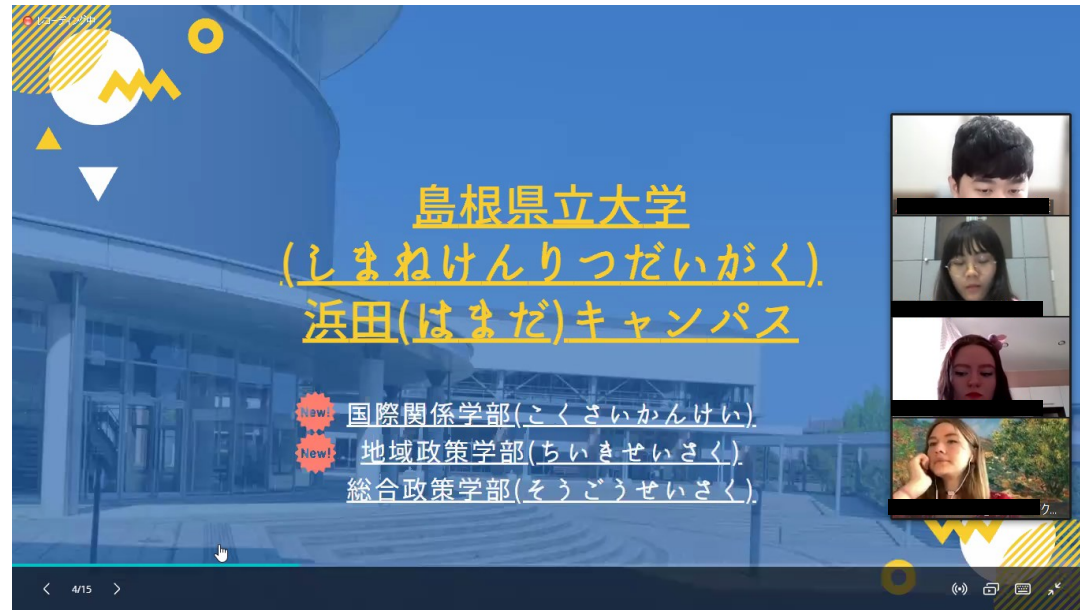


## 交流する楽しさ！

言語も文化も違う人と話すのは楽しいと感じました。例えば、日本にはどこにでもコンビニがあって当たり前だけどロシアでは違いました。楽しく話しながら、違いを知れたのが交流のいいところだなと思いました。

## 外国に行きたい！

外国青年の話を聞いていると、私も実際に外国に行って伝統料理を食べたり生活してみたりしたいと思いました。また、今回は日本語での会話だったので、外国語で簡単な会話程度は話せるようになりたいなと感じました。



# このプログラムから 得たもの



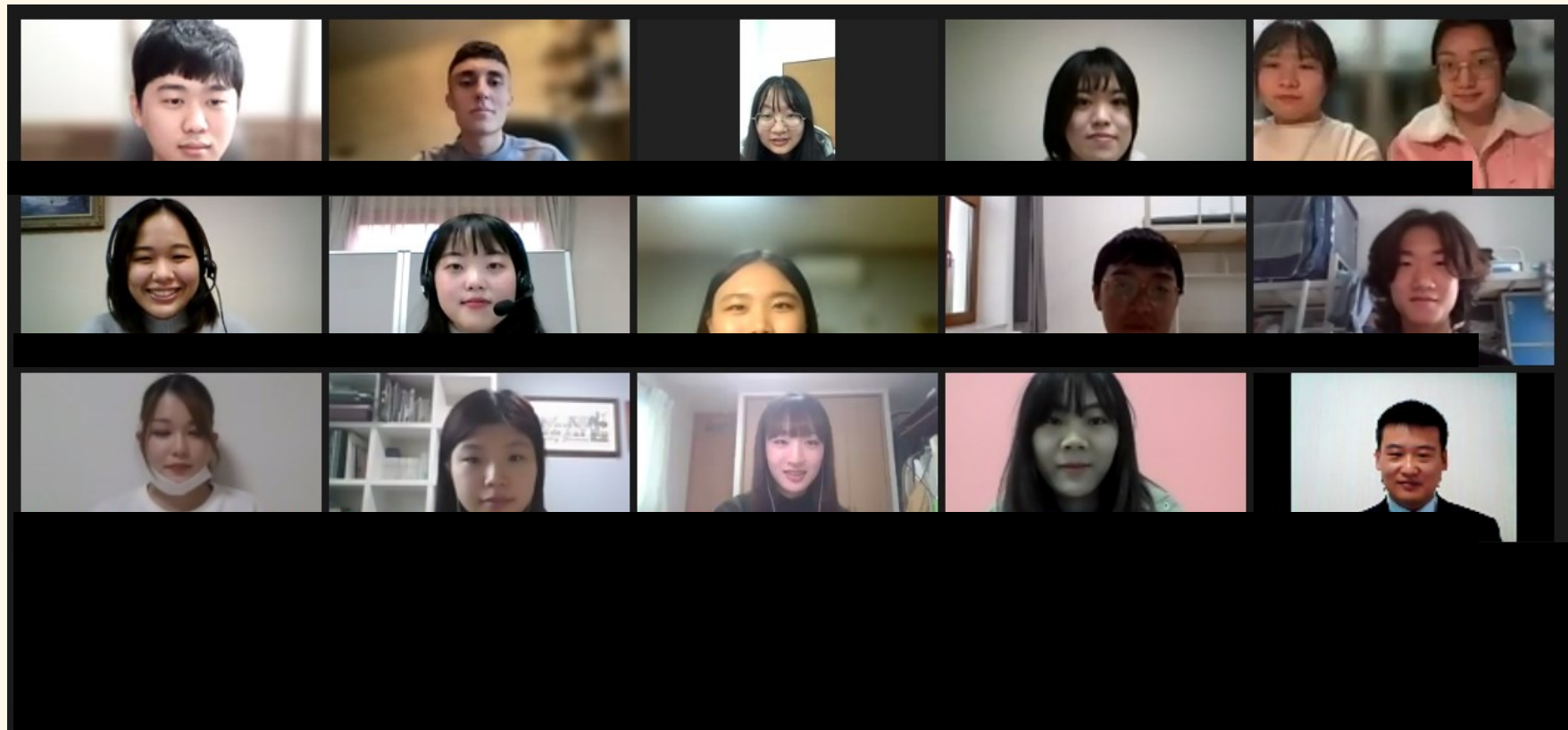
## 相手への伝え方！

今回参加してくれた外国青年の日本語レベルは様々でした。だから、やさしい日本語を使って相手に伝わるように意識しました。また、写真や文字でも表示して視覚的にも伝わるように工夫してやる大切さを知りました。

## やりたいことをやってみる！

この交流は、私にとって初めての挑戦でした。期待も不安もありましたが、結果的にとても楽しむことができたので参加できて良かったです。なんでもやってみることが大事と言いますが、本当にその通りだと実感しました。

# これからの 自分について



私は、この交流でさらに外国への興味が湧きました。また、このプログラムに参加した日本人も外国人も含め全員と交流を続けていきたいなと思いました。そして、外国に行くことができた時、案内などをしてもらいたいという新しい夢ができました。また、私は今短大で保育について学んでいます。だから、いつか興味のある外国で子どもと関われる何かができたら嬉しいなと思います。